

6 吉部市地区街なみ



明治以後、昭和にかけて資材の集積地区として賑わってきた吉部市。田園的環境を残せるよう街なみ整備事業により整備された。



5 槍立森古墳
明治初期まで吉部八幡宮の大祭には大提灯が灯されていたといわれ、槍持ちの警固番人が立ったと伝えられる。槍ヶ森、あるいは一ノ森とも呼ばれる。また、周辺には下市遺跡や上原田遺跡なども発掘された。

4 神宮寺・宝篋印塔



吉部八幡宮に隣接する神宮寺。その境内にはクスノキ古樹のほか、県内唯一の近世期造立の宝篋印塔（供養塔）がある。



3 吉部八幡宮

別名、寺尾八幡宮といい、弘長元年（1261）の創建。毎年11月に行われる「芋煮の神事」は、創建当時の事情を物語る民俗資料として有名である。

7 夫婦岩



厚東川の岸近く、二つの大岩が寄り添う。雨の夜には、終日終夜「父恋し、母恋し、故郷恋し、嘉万恋し」と生まれ故郷を慕って泣くと言い伝えられている。

8 妙典供養碑(板碑)



鎌倉期から江戸期にかけて盛んに造られた板碑で、石造卒塔婆ではめずらしい。「常音敬白 為妙典万部供養」と刻銘されている。

9 吉部の大岩郷



無数の巨岩が3ヘクタールにわたって広大な河川のように重なり流れた様相をみせる。地学的・植物学的の見地から国の天然記念物に指定された。

ちょっと足をのびして
荒滝山方面

13 荒滝の滝

荒滝山のふもとにあり巨大な岩の重なりから流れ落ちる滝。うっそうとした木々に覆われ、四季折々の風情を持つ景勝の地。



12 荒滝の耳観音

荒滝山のふもとにある観音様で、昔から穴の開いた石を奉納し、祈願すると耳の病が治るといわれ、今も信仰する人が多い。



11 荒滝山山頂

宇部市最高峰の標高459m。山頂に江戸時代に造られたのろし場の跡や明治天皇陶像が造立されている。南は瀬戸内海、北は秋吉台を望める。



10 山城とりで跡

四季の景観に優れた風光明媚な山、荒滝山。大内氏の長門守護代を努めた内藤隆春の出城跡で、人工の形跡が少ない戦国時代の山城。

